

木曾川町連区

第22号

地域づくり協議会だより

発行日：平成28年 9月1日 発行者：木曾川町連区地域づくり協議会
一宮市木曾川町内割田一の通り27（一宮市木曾川庁舎内） 電話：84-0005

メールアドレス

k-chiiki@orihimene.jp

ホームページ

<http://138kisogawa.org>

検索：木曾川町連区

*** 防災訓練開催のお知らせ ***

木曾川町連区町会長協議会長

杉山 英機

震災の被害は甚大で昔から恐れられてきました。今年の4月に発生した熊本大震災でも多大な被害に見舞われたことは記憶に新しいことです。東海地方も東海沖・南海トラフの歪が懸念され、近い将来に大地震が引き起こされると言われています。その為、震災から身を守るための防災・減災の意識が高まりを見せて非常に良い傾向です。

連区では地域づくり協議会と共催して災害に強い町内を目指す一環として、木曾川西小学校、木曾川東小学校に引き続き、今年は黒田小学校で北黒田東部、北黒田西部、内割田、東割田地区の皆さんを対象に各町内会組織をはじめ木曾川消防署、消防団などの協力により下記のとおり実施する事が決まりましたのでお知らせいたします。

◇日時 平成28年10月16日（日）
午前8時30分～11時30分

◇場所 黒田小学校 運動場
*雨天の場合は屋内運動場

◇主催 木曾川町連区町会長協議会

◇共催 木曾川町連区地域づくり協議会
社会福祉協議会木曾川支会

◇参加者 北黒田東部地区・北黒田西部地区
内割田地区・東割田地区・木曾川消防署
消防団・各種団体・中学生ボランティア
*一般の自主参加も歓迎します

◇訓練内容 避難訓練・初期消火訓練・応急救護訓練
AED訓練・炊き出し訓練
スモークハウス訓練・起震車体験（未定）



消火訓練



AED訓練

敬老会開催のご案内

多年にわたり社会の進展に貢献されました高齢者に対して、敬愛・感謝の意を表し長寿を心からお祝いする『木曾川町連区敬老会』が、下記のように決まりましたのでご案内いたします。

対象者には、近くご案内のハガキが届きます。皆さんお誘い合わせの上お出かけ下さい。

今年の75歳以上の対象者は、4,041人（平成28年7月22日現在）で昨年より200人ほど増えました。

巡回バスの時刻表、停留所などにつきましては広報9月号配布時に回覧させていただきます。

◆日時 平成28年9月10日（土）
午後1時30分（正午開場）

◆場所 一宮市木曾川体育館

◆対象者 75歳以上
（昭和16年12月31日までに出生の住民基本台帳に記載されている方）

◆内容
1. 式典 1時30分～1時50分

2. アトラクション 2時00分～3時00分

◆アトラクション出演者

宮路オサム ・ 北口幹二彦（ものまね）

◆巡回バス 南黒田、北黒田方面 : 大型バス1台
里小牧、玉ノ井、内外割田方面 : 大型バス2台
堤内方面 : 中型バス1台



一豊まつり開催のご案内

木曾川商工会では、地域を取り巻く経済環境が、大きく変化していく中、小規模事業者の皆さんに対し、積極的に経営支援を行うことにより、会員相互の利益と地域経済の向上に努めています。

また、地域の皆様を始め多くの方々に楽しんでいただく事業として、戦国武将「山内一豊公」の生誕の地、ここ木曾川町において、「木曾川町一豊まつり」を毎年開催しています。

第33回を迎える今年は9月18日(日)、黒田小学校をメイン会場に、お子様からお年寄りの方まで幅広い層の方々に楽しんでいただける趣向を凝らしたアトラクションをご用意いたします。

最大の呼び物、「一豊パレード」では甲冑を身にまとった一豊公と、豪華絢爛な時代衣装の千代様が戦国武将らとともに大きな隊列を組んでパレードを行います。メイン会場ではステージが用意され、タレントや地元関係者による演奏やパフォーマンスが繰り広げられ、さらに、おいしいグルメや鮎のつかみ取りなど多彩な催しが展開されます。また、今年は豪華な電動バイクが当たる「お楽しみ抽選会」もあります。

どうぞ、戦国夢浪漫「一豊まつり」に多くの皆様がお越しいただきますよう、心からお待ちいたしております。



**** 行催事模様 ****

「東日本大震災」から学ぶ

防災講演会が開催されました

7月24日(日)、木曾川庁舎にて防災講演会が開かれました。この講演会は地域づくり協議会と木曾川町連区が共催したもので、町会長や民生委員、PTA関係者等、約100名が参加しました。講師は東日本復興支援センターNPO法人「サンガ岩手」の理事長である吉田律子さんです。演題は「被災地の高齢者に対するこころのケアと住民交流会活動の実施」でした。

講演に先立ち、光崎協議会長及び杉山連区長の挨拶に続き、被災地支援に取り組んできた山口公民館長(旧町長)から講師紹介がありました。講師の吉田さんは盛岡在の僧侶ということです。震災発生時から片道約2時間40分をかけて大槌町へ通り、被災者の方々に尽くしてこられています。

講演の内容は以下のとおりでした。

1. 震災直後の緊急支援・大槌町の被害状況
2. 緊急支援から生活支援へ
3. 2012年7月「手作り工房おおつち」開設
4. 「つくる・つどう・つながる」地域コミュニティの創出
5. 自助・共助・互助・公助の連携

講演の中で特に印象に残ったことは、

○行政を待っていたら死んでしまう。緊急時では出しゃばって良い、おせっかいで良い。

○支援活動に必要なことは

①ためらわないこと ②くやまないこと ③そばによりそうこと

○迷惑をかけて生きるのが人間。支えてもらうことに感謝し、そのお返しを次の人に。

○まず健康、生活に密着した寄りそい、つながりを大事に。

○役場と民間団体の連携。

等々でした。

実体験に基づくお話だけに参加者全員が時間も忘れて聞き入っていました。



「親子着衣水泳講座」

8月11日（木・祝）木西小プールで、親子着衣水泳講座を開催しました。今年から小学校単位でなく、木曽川町全体を一つの小学校で行うということにし、木西小から始めました。参加希望者によっては、距離が遠くなったのも一因か、昨年度の半分程度（40名）の参加となりました。

講座は、インストラクター6名の息の合ったチームワークで、若し着衣のまま水難事故にあった時の対処方法や溺れている人の救難方法などをわかりよく教えてもらいました。着衣のまま水中に落ちたら、あるいは溺れた状態になったら、慌てないで『あごを挙げ』『へそを出す感じで』『力を抜き』浮いた状態で辛抱強く救助を待つなど。

また、救助に当たっては、背後から相手に近づき溺れている人の気道を確保しつつ、頭を自分の肩に乗せるような状態で、安全な場所へ行くなど。 実際にはできるかどうか・・・？

でも、知識だけは、十分理解できたのではないのでしょうか。



さらに、ペットボトルの利用法なども教えていただきました。

何か一つでも体得していただければ幸いで、人命救助に役立った、と感じる一日でした。

== 行 催 事 情 報 ==

行 事 名	開催予定日	開 催 場 所	主 催
敬老会	9月 10日	木曽川体育館	社会福祉協議会木曽川支会
一豊まつり	9月 18日	黒田小学校周辺	木曽川商工会
市民体育祭	10月 9日	木曽川中学校	公民館
防災訓練	10月 16日	黒田小学校	木曽川町連区町会長協議会
文化・芸能祭	11月 5・6日	木曽川公民館 尾西信金ホール	公民館

== 地 域 づ くり 協 議 会 の 活 動 状 況 ==

	4月	5月	6月	7月	8月	備考
役員会	4/13		6/10		8/5	隔月 開催
部会長会		5/9		7/11		同上
安全安心部会	4/8		6/10		8/5	同上
思いやり部会	4/8		6/13		8/8	同上
活気部会	4/8		6/10		8/10	同上
広報部会	4/4	5/9	6/6	7/4	8/1	毎月 開催
女性部会	4/8		6/21		8/9	隔月 開催